

第 1 章 総 説

1 . 沿革.....	16
2 . 位置.....	17
3 . 地勢.....	17
4 . 役場の位置.....	17
5 . 山岳.....	17
6 . 主要河川.....	18

1. 沿 革

本町の歴史は古く、宮地区の刈田嶺神社付近の明神裏遺跡から縄文土器、また円田地区の大橋遺跡から弥生土器が出土しており、このころから人間が住んでいたことがわかる。

本町の記録が初めてみられるのは721年の「続日本紀」で、773年に刈田嶺神社が建立され、山岳信仰の地として知られるようになった。また、同年に蔵王の火山活動も初めて記録されている。

その後、平安時代に修験者たちが訪れるようになり、彼らによって吉野の蔵王堂から分霊され、刈田山頂に蔵王権現が刈田嶺神社に併置された。ここから蔵王連峰の名がおこった。

近世に入って本町は仙台藩のもとに置かれたが、このころから蔵王の火山活動が盛んとなり、慶長年間には温泉の発見が伝えられている。一方、宝暦・天明・天保の大飢饉に見舞われるなど、苦難の時代が続いた。

明治5年に宮城県が置かれ、さらに明治22年の町村制の施行に伴い、宮村・円田村が形成された。戦後、昭和28年の町村合併促進法の施行により、宮村・円田村の合併が進められ、昭和30年に宮村・円田村。町名は霊峰蔵王にちなみ「蔵王町」と定められた。

こののち本町は、農業と観光を基幹産業として発展してきたが、昭和37年蔵王エコーライン、昭和48年東北自動車道白石市・仙台南間の開通、さらに昭和57年東北新幹線の運行開始など、広域高速交通網の整備が進むにつれて、小村崎農工団地、白石蔵王農工団地、向山農工団地などが次々と造成されると共に、積極的な企業誘致が図られ、本町の工業地域としての基礎が築かれ、新たな発展の機を迎えている。

さらに、最近においては、高齢化社会に対応するため、農業と観光に加えて福祉の充実を揚げ、蔵王ヘルスプラザを福祉の活動拠点として総合的な福祉サービスを展開し、豊かで住みよい町をめざして現在に至っている。

町 域 の 変 遷

年 月 日	合 併 経 過	面 積	世 帯 数	人 口
明治22年4月1日	明治維新時は伊達藩に属し、7カ村であったが明治22年4月1日市制町村制が実施されると、宮村は単独で地方自治体となり、一方曲竹、矢附、円田、塩沢、平沢、小村崎の6カ村は合併して円田村となった。	55.78 km	1,464 戸	9,509 人
			円 田 村	
		97.78 km	1,250 戸	7,355 人
			宮 村	
昭和30年4月1日	昭和30年4月1日町制施行により宮村・円田村が合併した。蔵王連峰の一部を有していることから蔵王町となった。	153.56 km	2,714 戸	16,474 人
			〔現在の町総面積は152.85 km。隣接町との境界未定地があるため、総務庁統計局の推定面積〕	

資料：総務課「蔵王町設置に関する申請書」

2. 位置

位置	東 経	北 緯	地 名	距 離	標 高
東 端	140° 42 24		大字小村崎字山崎地内	東西 23km	20m ~1,825m
西 端	140° 33 22		遠刈田温泉字倉石岳国有地内		
南 端		38° 1 49	宮字松ヶ丘地内	南北 13 km	
北 端		38° 8 46	大字円田字土浮山 2-1 地内		

3. 地 勢

蔵王町は宮城県南部に位置し、白石川支流松川水系一帯を占める。東は村田町、西は蔵王連峰を境に山形県、南は白石市、北は川崎町に接する。

海拔の最高は西端の屏風岳で1,825m、最低は向山農工団地南側白石川接点で20m、起伏に富み、町面積の約65%が山林・原野であるが、その割に耕地面積は広く、果樹生産では県内有数の産地でもある。

一方、西部は蔵王国定公園に含まれ、松川上流の遠刈田温泉などが蔵王観光の基地となっている。

4. 役 場 の 位 置

名 称	所 在 地	電 話 番 号	経 度	緯 度	標 高
蔵王町役場	〒989-0892 宮城県刈田郡蔵王町大字円田字西浦北10番地	0224 33-2211(代)	東経 140° 39 36	北緯 38° 5 40	116m

資料：河北新報社発行「みやぎ地図百科」 建設課「道路台帳」

5. 山 岳

山 岳 名	標 高
屏 風 岳	1,825m
刈 田 岳	1,758m
杉 ヶ 峰	1,745m
五 色 岳	1,672m
後 鳥 帽 子 岳	1,681m
馬 ノ 神 岳	1,551m
青 麻 山	800m
大 鳥 谷 山	538m

資料：宮城県統計年鑑

6.主要河川

平成18年12月31日現在(単位:m)

河川名	上流端	下流端	流路延長
白石川	左岸 刈田郡七ヶ宿町字大谷地道下3番地先 右岸 同町同字5番地先	阿武隈川への合流点	69,689
松川	新滝川の合流点	白石川への合流点	20,745
森の川	左岸 刈田郡蔵王町宮字乙当地6番の3地先 右岸 刈田郡蔵王町宮字森合12番の7地先	平家川への合流点	2,300
平家川	白石市福岡深谷字家老内57番2地先の大黒天橋	松川への合流点	2,100
黄金川	左岸 蔵王町宮字中野165番地先 右岸 蔵王町宮字押田98番地先	松川への合流点	1,500
藪川	左岸 蔵王町大字平沢字西原26番2地先 右岸 蔵王町大字平沢字西原28番の1地先	松川への合流点	11,663
高木川	左岸 蔵王町大字円田字根無藤22番の1地先 右岸 蔵王町大字円田字土浮山8番地先	藪川への合流点川	4,550
秋山沢川	刈田郡蔵王町遠刈田温泉字七日原199番1地先の 秋山沢1号砂防堰堤下流端	松川への合流点	6,534
濁川	三途川の合流点	松川への合流点	9,053

資料:大河原土木事務所行政班